

一家を支える大黒柱

小西野々

兵頭

健生さん 友紀さん

由羅くん 野乃加さん 威吹くん

タミ子さん



町内で建築業を営む兵頭健生さん。お父さんが亡くなられてから一家の大黒柱として家庭を支えています。

そんな父の背中を見て成長している子どもたちはこう話していました。「お父さんの様な父親になりたい」と長男由羅くん。長女野乃加さんにとって健生さんは「自慢のお父さん」。二男威吹くんは「お父さんが仕事をする姿はカッコいい」と大絶賛。

また会社の事務をしながら健生さんを支える友紀さんは「お義父さんが亡くなつてから、本当に頑張ってくれています。尊敬しています」と話していました。

そんな兵頭さんご家族は、以前はよく家族6人で旅行に行っていたそうですが、子どもたちの成長とともに部活動や習い事の送り迎えなどが大変になり、最近は行けなくなつたそうです。しかし、それに対して「大変ですけど、今しかできないこと。夫婦で協力してやっています」と前向き。父という大きな柱を中心に、家族みんなが支え合い、尊重し合う兵頭さんご家族。これからも温かい家庭を築くことでしょう。今回は、健生さんのお客さんである古用貴嗣さんご家族です。

編集後記

▼お盆に各地区で夏祭りが行われました。各地区趣向をこらした内容で、皆さん祭りを楽しまれたようです。久しぶりに会う友人、先輩・後輩、お世話になった人たち。その人たちと久しぶりに話に花を咲かせたり、踊りを踊ったり、演芸に目を奪われたりと、それぞれの人がいるいろいろな形で祭りを楽しみました。

そういう時間はあつという間に過ぎてしまい、祭りの後は何となく寂しい気分になるのは私だけでしょうか。

▼今月の表紙の成川溪谷。暑い日が続く中、「涼」を求めて訪れている人でいっぱいでした。車を降りても程良い気温で過ごしやすく、とてもいい気持ちでした。訪れていた子どもたちは溪谷の岩を滑り水にダイブ。私も子どもの頃にはよくしていました。今はする勇氣がないなと思いつつその場を後にしました。(未)

ほくほく鬼北
家族の絆